



大川排水機場逆流水門全景



更新した水位計の保安器盤、無停電電源盤、水位計復調器

群馬県大川排水機場の水晶式水位計更新

群馬県伊勢崎土木事務所様発注の社会資本総合事業(防災・安全社会資本整備交付金)水位計更新工事として、群馬県伊勢崎市の大川排水機場に設置されている水晶式水位計を更新しました。

大川排水機場には、合流する広瀬川側からの逆流による浸水被害を防ぐために設置されている大川逆流防止水門があり、この水門を挟んだ広瀬川側と大川側に設置されている水晶式水位計の更新工事です。

設置した水位計のデータは、広瀬川からの逆流や、大川の増水による地域の浸水被害防止のための水門制御に利用されます。

昨年9月に発生した常総市の水害のように、河川の水位監視は重要事項であり、この大川排水機場をはじめとして、各地の河川、ダムで社の水位計が利用されています。

(担当: 防災事業部、関東支店)



来場者に説明をする当社社員

内閣府主催のシンポジウムにPOTEKA出展

3月10日に開催された「2020年に向けた科学技術イノベーション シンポジウム」に、超高密度気象観測システムPOTEKAを出展しました。

これは内閣府が主催し、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け「科学技術イノベーションが世界を大きく前進させる」を基本理念として、取り組む9つのイノベーション・プロジェクトを紹介するもので、プロジェクト紹介ブースには島尻科学技術政策担当大臣も視察に訪れました。

展示募集枠を超える応募の中から、プロジェクトの1つである「ゲリラ豪雨・竜巻事前予測」のテーマと非常に親和性が高いPOTEKAが選ばれ、新しい気象サービスとしてPOTEKAを紹介することができました。

4年後の一大イベントに貢献できるように、機器展開、サービス充実に努めていきます。

(担当: 気象・管制事業部、営業推進グループ)



社屋上での収録風景

「空から日本をしてみようplus」でPOTEKA紹介

BSジャパンの「空から日本をしてみようplus」に超高密度気象観測システムPOTEKAが取り上げられ、3月1日に放送されました。

番組キャラクターの「くもじ」と「くもみ」が日本全国を空から観察し、気になったところに訪問して疑問を解き明かし、その土地独自の魅力を伝える番組です。

今回、群馬県太田市～伊勢崎市にかけて撮影があり、当社屋上に設置してあるPOTEKAが謎の物体として映し出され、取材班の訪問を受けました。

番組のなかでは、POTEKAの担当者が突風時の観測結果の説明や現在の設置状況などを説明しました。

今後もこのような機会をとらえ、POTEKAをはじめとするさまざまな当社製品をみなさまにお伝えしていきます。

(担当: 気象・管制事業部、経営企画室)

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。